

旅行をトータル プロデュースしよう!

旅行業務取扱管理者とは

旅行者のニーズに合った旅行を提供するため、企画やセールス、添乗までを担うのが「旅行業務取扱管理者(旅行管理者)」です。旅行業務取扱管理者には「総合旅行業務取扱管理者(国内旅行と海外旅行を取り扱う)」と「国内旅行業務取扱管理者(国内旅行を取り扱う)」があります。

また旅行業務取扱管理者は国家資格であり、法令により、旅行会社の1営業所につき1人以上の設置が義務付けられています。

旅行業界への就職に強い!

旅行業界は、毎年大学生に人気の就職先ランキング上位に入っています。多くの学生が志望する旅行業界の内定を勝ち取るために、旅行業務取扱管理者の資格を取得しておくことは、大きなアドバンテージとなります。

また就職後においても、旅行業務取扱管理者の知識はさまざまな場面で活かすことができます。将来、幅広いフィールドで活躍したいと思っている方は、ぜひ学習しておくべき資格であるといえます。

活躍できるフィールドは様々!



旅行業界

▶ 店頭営業や法人営業における旅行プランニング、カタログ制作における旅先の魅力紹介などで知識を発揮できます。



航空業界

▶ 客室乗務員や旅客のチェックインなどを行うグラウンドスタッフなど、旅行と密接に関わる業界です。



鉄道業界 バス業界

▶ 実務で必要となる観光地理や運賃・料金計算などは、旅行業務取扱管理者の学習で習得できます。



ブライダル 業界

▶ 近年、「挙式」と「新婚旅行」をセットで取り扱う企業が増えており、旅行業務取扱管理者が活躍できます。



ホテル業界

▶ ホテル周辺の観光スポットや交通機関などに幅広く精通した一流のコンシェルジュを目指せます。



旅行業務取扱管理者って どんな学習をするの?

旅行業務取扱管理者の学習範囲は多様ですが、旅行好きなら学習しやすい内容もたくさんあります。その学習内容の一部をご紹介します。

海外観光地理

日本人に人気の世界遺産ベスト10は?

国内運賃・料金計算

JAL・ANA国内線の一番お得な運賃は?

旅行業約款

旅行を取りやめる場合のキャンセル料は?

出入国法令

帰国時に免税となるお土産の範囲は?

旅行業法令

旅行者にはどんな種類があるのか?

いかがでしょうか?
旅行や地理、世界遺産などに興味のある方は、その知識が学習に活かれます。

楽しく学習できることも、旅行業務取扱管理者の魅力の一つと言えるかもしれません。

試験ガイド

難易度 【国内】★★★★★ 【総合】★★★★★

受験資格	なし	合格率	国内 32.1% 総合 12.8% (2016年度)
試験内容	①旅行業法およびこれに基づく命令 ②旅行業約款、運送約款および宿泊約款 ③国内旅行業務 ④海外旅行業務 ※国内旅行業務取扱管理者は④を除く	試験実施 団体	国内:(一社)全国旅行業協会 URL > http://www.anta.or.jp/ 総合:(一社)日本旅行業協会 URL > http://www.jata-net.or.jp/